

困難を乗り越え、 さらなる高みへ ～新人社員たちが語る成長の軌跡～

2024年に入社した社員の皆さんに、この1年間の苦勞や成長、そしてこれからの目標についてお聞きしました。猛暑や未経験の壁を乗り越え、大きく成長した彼らが語る、河野組の魅力と未来への意気込みとは？



工事部
やま した さと し
山下 悟志さん

入社後の苦勞

猛暑と未経験の壁。周囲の配慮に支えられて

夏の暑さは体力的に過酷でした。しかし、先輩たちが本当に優しく、休憩や水分補給をこまめに取らせてくれるなど配慮があり、安心して働くことができたのです。最初はわからないことも多く、何度も質問しましたが、皆さん丁寧に教えてくださり、深く感謝しています。人間関係で苦勞することはありませんでした。

この1年で実感する自身の成長

業務内容を把握するにつれて「次はこうしよう」「そのためにこれを準備しよう」と、先を考えて行動できるようになってきたと感じます。次の工程に必要な工具を事前に準備するなど、作業もスムーズになりました。

河野組の魅力

人柄の素晴らしい方が多く、社内の雰囲気が良いことです。質問すれば必ず教えてくれますし、こまめに休憩を取らせてくれるなど、気遣ってくれる社員が多い。本当に働きやすい環境だと感じます。体力的な厳しさがあっても、この環境があるから続けられます。

2年目の目標

目標は作業の円滑化と資格取得。信頼される技術者へ

2年目は、作業をもっとスムーズにこなせるように心がけます。取りたい資格に向けて、勉強や実践を積み重ねていきたいと考えています。クレーンの操縦や溶接の資格を持っていると元請けに対する安心感や信頼性の向上にもつながります。また、現場に同行させてもらえる機会も増えるはず。精一杯取り組んでまいります。



工事部
みや さこ あ む
宮迫 亜武さん

入社後の苦勞

最も大変だったのは、夏の屋外での現場作業でした。体感温度40℃にもなる猛暑での作業に加え、現場の業務自体が初めてだったため、大変さがありました。先輩方が「しんどかったら休憩しておいで」と声をかけてくださったため、安心して休むことができました。

この1年で実感する自身の成長

現在感じている自身の変化は、先読みした行動ができるようになった点です。2つ目の現場を最初から最後まで担当する機会をいただいたことで、全体の流れを把握できました。根気強く教えてくれた先輩方のおかげで、知識を積み重ねられた結果だと感じています。

河野組の魅力

河野組の魅力は、社員同士の仲が本当に良いことです。お互いの良い信頼関係が、業務上での活発な意見交換や現場でのスムーズな連携につながっているのだと感じます。

2年目の目標

私の今後の目標は、意識を半人前から一人前に高めることです。そのために、もっと周囲の動きを見て、積極的に聞いて学ぶことを徹底します。そして、空回りせず、必要なことを的確に判断し実行できる「意味を持った行動」を増やすことが目標です。



工事部
あん どう りゅう すけ
安藤 隆祐さん

入社後の苦勞

社内コミュニケーションの壁を乗り越えて

入社以来、最も大変だったことは、社員の皆さんとのコミュニケーションです。当社にはベトナム人社員が多く、年齢層も幅広いため、円滑なコミュニケーションに苦勞しました。この壁を乗り越えるため、積極的に現場へ出向き、先輩方と行動を共にしました。一緒に仕事をするうち、言葉以外の要素からも相手を理解できるようになり、コミュニケーションを向上させられたと感じています。

この1年で実感する自身の成長

入社当初は何をすべきかわからず、立ち止まることもありました。しかし今は、自分で判断できるようになっています。きっかけは同期や先輩方が、親身に相談に乗ってくれたため。気さくなアドバイスのおかげで、不明点を解消し、対処できるようになりました。

河野組の魅力

当社は社員の皆さんが温かく、悩みごとがあれば、社長や先輩方が個別に話を聞いてくださる場を設けてくれます。私も相談に乗っていただいたことで、前向きになれました。会社全体で新入社員をサポートしてくれる体制があることは、心強く感じます。

2年目の目標

2年目はさらに経験を積み、年長の先輩方からも安心して任せてもらえる社員が目標です。そして新たに入社してくる新入社員に、的確に指導できる存在になりたいと考えています。

皆さんへの 感謝のメッセージ

7年間、河野組のメンバーとして活躍してくれたファム・タム・ロンさん。このたび、退職することとなり、皆さんへ感謝のメッセージを寄せてくれました。こちらこそ、仲間として一緒に働けたこと、心から感謝しています！これからもどうぞご安全に！

工事部
ふあむ たむ ろん
PHAM TAM LONGさん

楽しかったこと

最初は日本語がわからなくて、慣れない作業で大変だったけれど、みんなが仕事を優しく教えてくれたので、スムーズに仕事ができ楽しかった。



河野組の良いところ

社員みんな、優しく仲が良いので楽しく、雰囲気良くて、仕事やりやすいところ。

日本の好きなどころ

仕事の後に社員のみなさんご飯を食べたのですが、そのときに食べた焼肉やラーメンがとてもおいしくて好きです。沖縄の社員旅行も楽しかった。

Message

7年間、お世話になりました！最初は大変でしたが、会社の良い雰囲気に包まれて、とても良い経験ができました！日本に戻ってきたら、また河野組で仕事がしたいと思います。



皆さん、あらためてありがとうございました！

少しの意識で理解が変わる！ 「教え方」と「教わり方」のひと工夫

人に教えることと、人から教わること。どちらも簡単そうですが、実は意外と難しいということをご存知でしょうか？今回はそれぞれのコツをご紹介します！まずは1つずつ実践してみてください。

教える側の皆さんへ！ わかりやすく伝える5つのポイント

1 具体的に話しましょう

「コレ、やっておいて！」はNG。指示語を使わず、何を伝えたいのか具体的に話しましょう。

2 数で示しましょう

「何日」までに「いくつ」必要か、など、数値で表せる内容は数値ではっきり伝えましょう。

3 「できそうだな」ということを伝えましょう

達成できるゴールを設定して、実際に達成できればその人の成功体験となりモチベーションにつながります。

4 関係のあることを伝えましょう

「関係」とは「会社関係」のこと。会社が目指す方向に、関係するゴールを設定しましょう。それが会社の利益につながります。「これ仕事と関係ある？」となってしまうと、混乱させてしまうだけです。

5 期限を決めましょう

いつまでに終わらせるかを決めましょう。期限を決めることで、頼まれた人も仕事の優先順位をつけやすかったり、「それまでに終わらせよう」と取り組んでくれたりします。

たとえば……

これ、
進めておいてね！

NG!

5日までに、
タイヤを4つ、
在庫確認
しておいてね！

GOOD!

明日、これ、
A社さんにね！

NG!

これを明日6日、
午前の便で
A社さん宛に
発送するよ。
準備しておいてね！

GOOD!

教えられる側の 皆さんへ！

教えられたことをしっかり理解するためのポイント

1 わからないことを質問しましょう

不安なときはココをチェック！

5Wと3H

Why=なぜ? (ねらいは何?なぜそうする?)

What=なに? (何を?目的や目標は何?)

When=いつ? (期限、約束の時間はいつ?)

Who=だれ? (誰が担当?お客様は誰?)

Where=どこ? (場所はどこ?どの位置に置く?)

How=どのように? (どのような方法、仕上げ方?)

How much=いくら? (費用は?)

How many=いくつ? (数や量は?)

2 理解したか 確認しましょう

口頭で指示を受けたのであれば、最後に「～～で合っていますか。」と、聞いた内容を確認をすることで、認識の相違を防ぐことができます。また、メモを取る、疑問点はその場で質問する、なども理解を深めるために大切な要素です。

「しっかり教えること」は
自分のためにもなる！

教えられる側は、うまく理解できるようになれば、それだけで大きなメリットとなります。では、教える側のメリットは何でしょうか？いくつかありますが、まずは「自身の理解が深まる」ということ。しっかりと言語化することで、自身のあやふやだったところを再認識することができます。また、うまく教えることで相手に興味を持ってくれば、レベルの底上げにもなるでしょう。そして何より、教えた相手の成長を見ることは、自分のモチベーションにもなるはず。教える側も教えられる側も、工夫しながら互いに成長していきましょう！